

## 5 病原体検査状況

## (1) 病原体検査状況

### ア 疾病別、月別検体受入状況(P42 表 17 参照)

検体受入件数は 1,902 件（全数把握対象疾患 216 件、定点把握対象疾患 1,686 件）であった。

全数把握対象疾病では、多い順に腸管出血性大腸菌感染症 110 件、日本紅斑熱 38 件、重症熱性血小板減少症候群（病原体がフレボウイルス属 SFTS ウイルスであるものに限る。）22 件、麻しん 14 件、つつが虫病 12 件、風しん 11 件等であった。

腸管出血性大腸菌感染症は年間を通して検体の搬入があり、5 月と 6 月にそれぞれ 19 件と 22 件と多い傾向にあった。

ダニ媒介感染症である日本紅斑熱及び重症熱性血小板減少症候群（SFTS）、つつが虫病は、4 月から 12 月まで検体の搬入があり、マダニの活動が盛んな春から秋にかけて搬入が相次いだ。

定点把握対象疾病では、多い順に新型コロナウイルス感染症 1540 件、感染性胃腸炎 69 件、インフルエンザ 39 件等であった。新型コロナウイルス感染症、感染性胃腸炎及びインフルエンザは年間を通して検体の搬入があり、それぞれの流行に合わせて、新型コロナウイルス感染症は 1 月から 3 月及び 7 月から 9 月、感染性胃腸炎は 2 月から 3 月、インフルエンザは 1 月から 4 月及び 11 月から 12 月に検体数が多かった。

### イ 疾病別病原体検出状況(P43 表 18a 及び P44 表 18b 参照)

腸管出血性大腸菌感染症、日本紅斑熱等の 13 疾病 16 種類 34 型（血清型、遺伝子型、遺伝子型および遺伝子群を含む）のウイルス、リケッチア及び細菌が検出された。

検出されたものは以下のとおりである。

- (ア) 腸管出血性大腸菌感染症：O55 が 2 件、O111 が 9 件、O146 が 1 件、O157 が 13 件、O 血清型別不明が 2 件検出された。
- (イ) 日本紅斑熱：日本紅斑熱リケッチアが 10 件検出された。
- (ウ) 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）：SFTS ウイルスが 2 件検出された。
- (エ) レジオネラ症：レジオネラ属菌 (*Legionella pneumophila* (血清群 5) 及び *Legionella dumoffii*) が検出された。
- (オ) A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎：A 群溶血性レンサ球菌 T 型別不明が 1 件検出された。
- (カ) 感染性胃腸炎 (P45 図 10 参照)：アデノウイルス、エンテロウイルス、アストロウイルス、ノロウイルス、サボウイルス、黄色ブドウ球菌、セレウス菌が検出された。ノロウイルスが 28 件と最も多く、次いでアデノウイルスが 10 件、アストロウイルスが 6 件検出された。
- (キ) 感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る。）：A 群ロタウイルスが 1 件検出された。
- (ク) 手足口病 (P45 図 11 参照)：エンテロウイルス型別不能が 4 件、コクサッキーウイルス A16 型が 6 件検出された。
- (ケ) ヘルパンギーナ (P46 図 12 参照)：エンテロウイルス型別不能が 2 件、コクサッキーウイルス A5 型が 1 件、コクサッキーウイルス A6 型が 1 件検出された。

- (コ) インフルエンザ（インフルエンザ様疾患も含む）：AH3 亜型が 2 件、AH1pdm09 亜型が 22 件、B 型系統不明が 1 件、B 型ビクトリア系統が 8 件検出された。
- (サ) 流行性角結膜炎：アデノウイルス型別不明が 4 件、アデノウイルス 3 型が 1 件、アデノウイルス 4 型が 1 件、アデノウイルス 8 型が 3 件、アデノウイルス 37 型が 1 件検出された。
- (シ) 無菌性髄膜炎：エンテロウイルス型別不能が 1 件、エコーウイルス 11 型が 2 件、ヘルペスウイルス 7 型が 1 件検出された。
- (ス) RS ウイルス感染症：RS ウイルス型別不明が 1 件検出された。

表17 疾病別月別検体受入状況(令和6年1月～12月)

臨床診断名(疑いも含む)		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	
全 数 把 握 対 象 疾 患	腸管出血性大腸菌感染症	4	6	9	2	19	22	6	9	6	8	11	8	110	
	日本紅斑熱				5	5	8	2	4	3	5	5	1	38	
	つつが虫病				5		2		2		2		1	12	
	重症熱性血小板減少症候群(病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。)				5	1	8	1	3	1	2		1	22	
	デング熱								1					1	
	チクングニア熱								1					1	
	ジカウイルス感染症								1					1	
	レジオネラ症					1								1	
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症				1	2					1			4	
	急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く)					1								1	
	麻疹			3	2	3	3							3	14
	風しん				2	3	3							3	11
小 計	4	6	12	22	35	46	9	21	11	17	16	17	216		
定 点 把 握 対 象 疾 患	咽頭結膜熱													0	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎									1				1	
	感染性胃腸炎	4	12	18	4	4	4	3	2	3	2	8	5	69	
	感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)			1				1						2	
	手足口病									2	4	3		9	
	ヘルパンギーナ						2	1	2				1	6	
	流行性耳下腺炎								1					1	
	インフルエンザ	4	5	4	4	1	1	1	1	2	1	5	10	39	
	急性出血性結膜炎													0	
	流行性角結膜炎	1	1		1	1	1	2		1		1	2	11	
	細菌性髄膜炎(髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。)													0	
	無菌性髄膜炎				1				1	3		1	1	7	
	伝染性紅斑													0	
	RSウイルス感染症									1				1	
	マイコプラズマ肺炎													0	
	水痘													0	
	突発性発疹													0	
新型コロナウイルス感染症	362	334	186	89	16	49	102	198	129	27	31	17	1540		
小 計	371	352	209	99	22	57	110	205	142	34	49	36	1686		
計	375	358	221	121	57	103	119	226	153	51	65	53	1,902		

表18a 全数把握対象疾患 疾病別病原体検出状況(令和6年1月~12月)

		腸管出血性大腸菌O55	腸管出血性大腸菌O111	腸管出血性大腸菌O146	腸管出血性大腸菌O157	腸管出血性大腸菌 型別不明	日本紅斑熱リケッチア	つつが虫病リケッチア	SFTSウイルス	デングウイルス	チクングニアウイルス	ジカウイルス	レジオネラ属菌	カルバベネム耐性遺伝子(IIMP、NDM、KPC、OXA-48)	麻しんウイルス	風しんウイルス	計	
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	2	9	1	13	2												27
4類感染症	日本紅斑熱						10											10
	つつが虫病																	0
	重症熱性血小板減少症候群(病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限)								2									2
	デング熱																	0
	チクングニア熱																	0
	ジカウイルス感染症																	0
	レジオネラ症												1					1
5類感染症	カルバベネム耐性腸内細菌目細菌感染症																	0
	急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く)																	0
	麻しん																	0
	風しん																	0
計		2	9	1	13	2	10	0	2	0	0	0	1	0	0	0		40



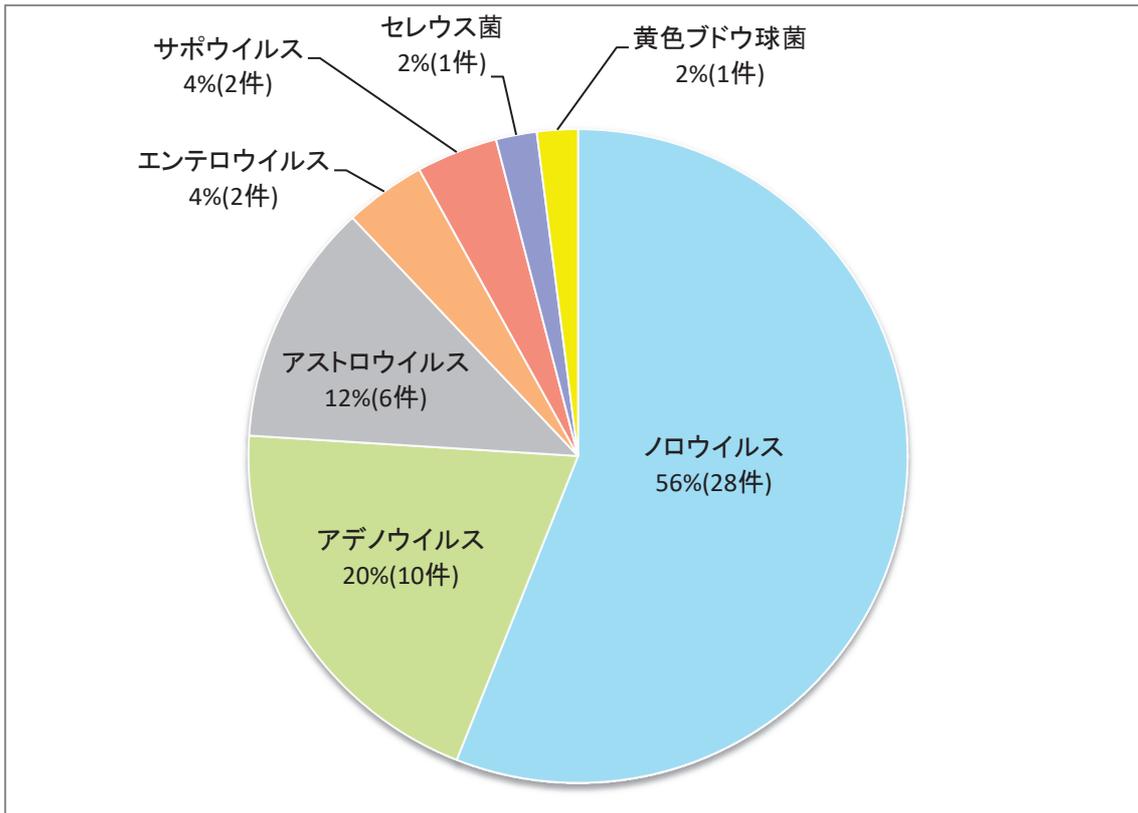
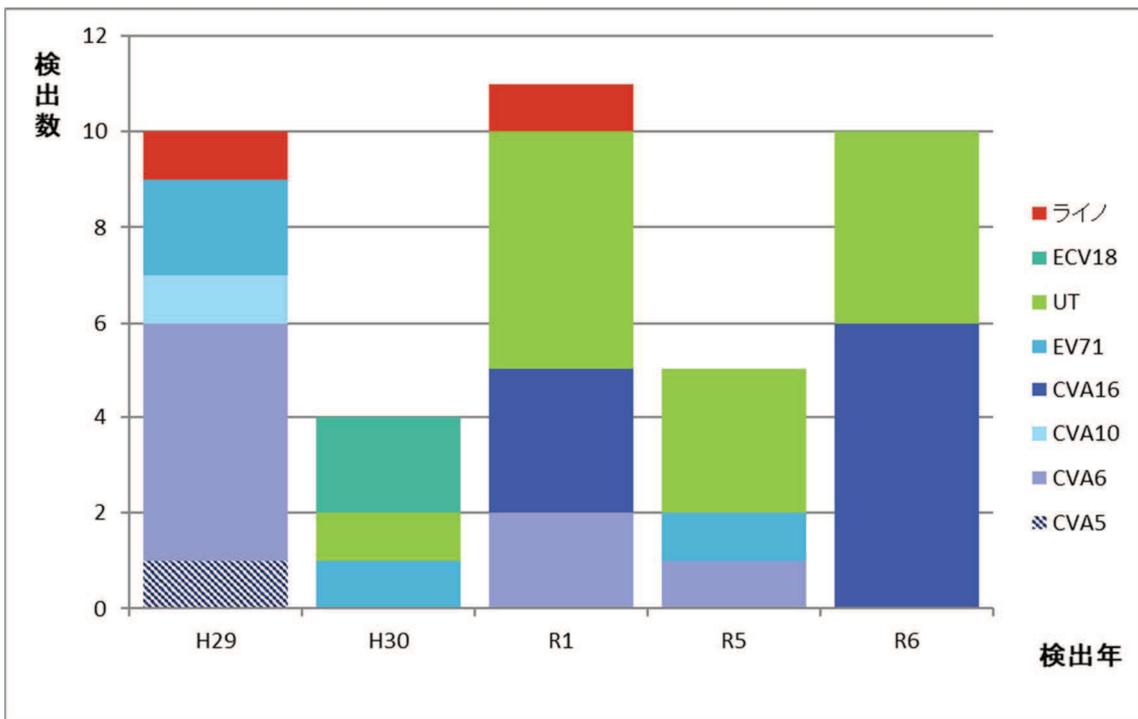
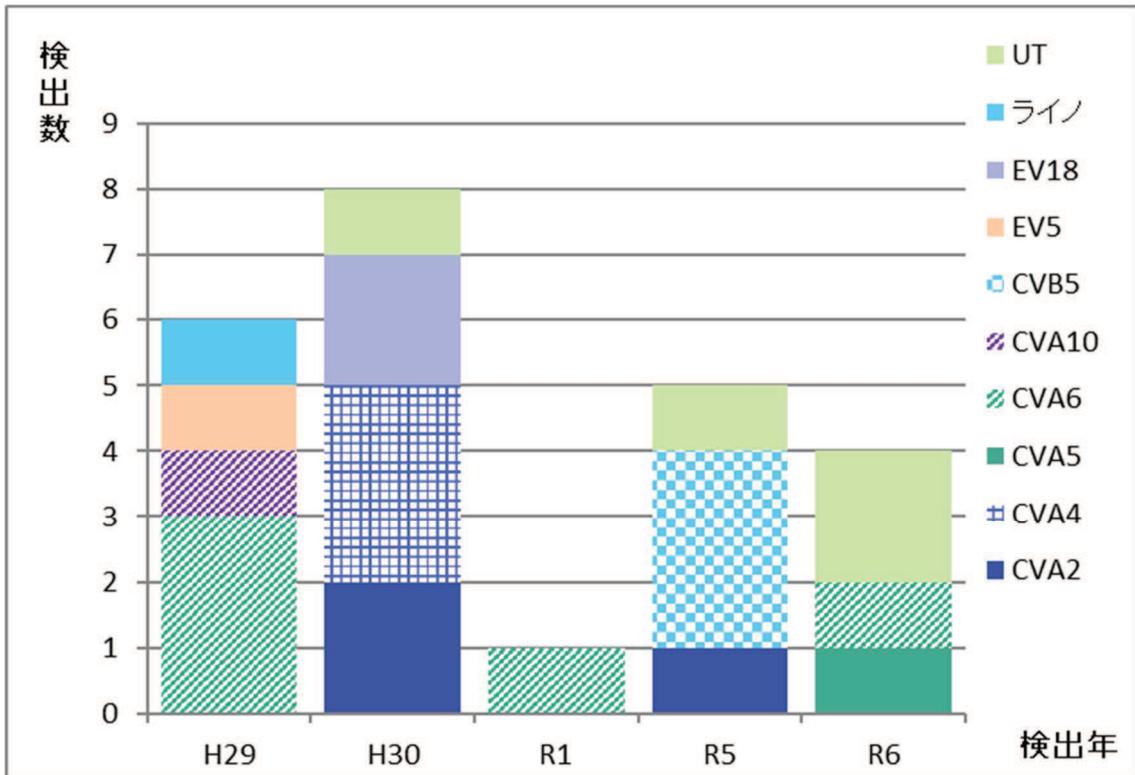


図 10 感染性胃腸炎診断の便検体から検出されたウイルスの割合



※CV : コクサッキーウイルス UT : 型別不能

図 11 年別手足口病と診断された患者の咽頭ぬぐい液検体からの検出ウイルス



※CV：コクサッキーウイルス UT：型別不能

図 12 年別ヘルパンギーナと診断された患者の咽頭ぬぐい液検体からの検出ウイルス

## (2) 全数把握対象疾患

### ア ウイルス検査状況

#### (ア) SFTSウイルス

保健所の積極的疫学調査により 22 件の検査を実施し、2 件（2 名）から SFTS ウイルスが検出された。

#### (イ) デングウイルス

保健所の積極的疫学調査により 1 件の検査を実施したが、デングウイルスは検出されなかった。

#### (ウ) チクングニアウイルス

保健所の積極的疫学調査により 1 件の検査を実施したが、チクングニアウイルスは検出されなかった。

#### (エ) ジカウイルス

保健所の積極的疫学調査により 1 件の検査を実施したが、ジカウイルスは検出されなかった。

#### (オ) 麻しんウイルス

保健所の積極的疫学調査により 14 件の検査を実施したが、麻しんウイルスは検出されなかった。

#### (カ) 風しんウイルス

保健所の積極的疫学調査により 11 件の検査を実施したが、風しんウイルスは検出されなかった。

#### (キ) アデノウイルス等

保健所の積極的疫学調査により急性脳炎（ウエストナイル脳炎等を除く。）の原因究明の一環として 1 件の検査を実施したが、アデノウイルス、エンテロウイルス、ヘルペスウイルス、ライノウイルス、水痘・帯状疱疹ウイルス、ヒトパレコウイルス、新型コロナウイルスは検出されなかった。

### イ リケッチア検査状況

#### (ア) 日本紅斑熱

保健所の積極的疫学調査により 38 件の検査を実施し、10 件（8 名）から日本紅斑熱リケッチアが検出された。

#### (イ) つつが虫病

保健所の積極的疫学調査により 12 件の検査を実施したが、つつが虫病リケッチアは検出されなかった。

### ウ 細菌検査状況

#### (ア) 腸管出血性大腸菌感染症

県内で腸管出血性大腸菌感染症患者（健康保菌者を含む）は 21 名発生した。当所では、患者（陰性化確認）と患者の接触者（結果陽性の場合の陰性化確認も含む）について検査を実施した。その結果、27 件（13 名）の腸管出血性大腸菌を分離・同定し、これらの血清型（ベロ毒素型）は O111 (VT1・VT2) 9 株、O157 (VT1・VT2) 4 株、O157 (VT1) 5 株、O157 (VT2) 4 株、O55 (VT1) 2 株、O146 (VT2) 1 株、O 血清型別不明 (VT2) 2 株であった。また、当所で分離した菌株や、提供を受けた

菌株のうち、11件についてはMLVA検査を実施した。(P48表19参照)。

(イ) カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症

保健所の積極的疫学調査により4件について検査を実施したところ、いずれも4つの遺伝子型(IMP型、NDM型、KPC型、OXA-48型)に該当しなかった。

表19 腸管出血性大腸菌感染症発生状況(令和6年1月~12月)

No.	検出月日	当所検査	居住地域	性別	年齢※	症状の有無	O血清型	Vero毒素型	MLVAtype
1	2月5日	同定	中部	女	10歳代	有	157	VT2	24m0025
2	3月22日	分離・同定	西部	男	幼児	有	111	VT1・VT2	24m3007
3	5月2日	同定	中部	男	幼児	有	157	VT1・VT2	—
4	5月13日	分離・同定	中部	女	70歳代	有	157	VT1・VT2	—
5	5月23日	—	西部	男	20歳代	有	157	VT1・VT2	—
6	5月24日	分離・同定	西部	女	50歳代	無	55	VT1	—
7	5月29日	分離・同定	西部	女	10歳代	無	55	VT1	—
8	6月7日	分離・同定	西部	男	幼児	有	111	VT1・VT2	24m3032
9	6月7日	分離・同定	西部	女	40歳代	無	146	VT2	—
10	7月18日	—	西部	男	60歳代	無	157	VT2	24m0270
11	8月6日	同定	中部	男	60歳代	有	157	VT1・VT2	24m0567
12	8月22日	—	西部	男	幼児	有	26	VT1	24m2113
13	8月26日	—	西部	男	20歳代	有	157	VT2	22m0066
14	9月17日	分離・同定	西部	女	20歳代	無	型別不明	VT2	—
15	10月22日	—	東部	男	20歳代	有	157	VT2	24m0568
16	10月23日	—	東部	女	10歳代	無	型別不明	VT1	—
17	10月29日	分離・同定	中部	男	小学生	有	157	VT1	24m0417
18	11月1日	分離・同定	中部	女	40歳代	有	157	VT1	—
19	11月5日	—	西部	女	20歳代	有	157	VT2	24m0569
20	11月22日	—	西部	女	10歳代	有	157	不明	—
21	12月7日	分離・同定	西部	男	幼児	有	157	VT2	24m0669

※表中の着色部分はそれぞれ同一事例を示す。それ以外は個別事例

※幼児：1歳以上の未就学児

### (3) 定点把握対象疾患(P50 表 20 参照)

#### ア ウイルス検出状況

- (ア) アデノウイルスは、3 型、4 型、5 型、37 型、40/41 型が各 1 件、8 型が 3 件、型別不明 11 件の計 20 件検出された (P51 図 13 参照)。
- (イ) 2023/24 シーズン (2023 年 9 月 4 日～2024 年 9 月 1 日) のインフルエンザウイルスは、AH1pdm09 亜型が 9 件、AH3 亜型が 16 件、B 型ビクトリア系統が 8 件、B 型系統不明が 1 件検出された。(P51 図 14A, P52 図 15 参照)。  
2024/25 シーズン (2024 年 9 月 2 日～2025 年 8 月 31 日) のインフルエンザウイルスは、AH1pdm09 亜型が主に流行した (P52 図 14B 参照)。  
2024/25 シーズンにはAH1pdm09 亜型が 27 件、AH3 亜型が 1 件、B 型ビクトリア系統が 4 件検出された (P52 図 15 参照)。
- (ウ) RS ウイルスは、RS ウイルス型別不明が 1 件検出された。
- (エ) ノロウイルスは 28 件検出された。遺伝子群はすべて G II であった。
- (オ) アストロウイルスは 6 件検出された。
- (カ) ヘルペスウイルスは、ヘルペスウイルス 7 が 1 件検出された。
- (キ) エンテロウイルスは、10 月に最も多く検出された。型別では、コクサッキーウイルス A16 型 6 件が多く検出された (P53 図 16 参照)。
- (ク) サポウイルスは、1 月と 11 月に各 1 件、計 2 件検出された (P53 図 17 参照)。

#### イ 細菌検出状況

- (ア) A 群溶血性レンサ球菌が 1 件検出された。
- (イ) 黄色ブドウ球菌が 1 件検出された。
- (ウ) セレウス菌が 1 件検出された。

表20 定点把握対象疾患 月別ウイルス等検出状況(令和6年1月～12月)

検出病原体	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
アデノ 1型													0
アデノ 2型													0
アデノ 3型						1							1
アデノ 4型											1		1
アデノ 5型					1								1
アデノ 7型													0
アデノ 8型								2		1	1		4
アデノ 37型					1								1
アデノ 40/41型	1												1
アデノ 54型													0
アデノ 56型													0
アデノ 64型													0
アデノ 型別不能			1	2	2		1	1	1		3		11
インフルエンザ AH3亜型			2										2
インフルエンザ AH1pdm09亜型	3	1	1						1		5	11	22
インフルエンザ B型ビクトリア系統	2	2	1	3									8
インフルエンザ B型山形系統													0
インフルエンザ B型系統不明		1											1
コクサッキー A2型													0
コクサッキー A4型													0
コクサッキー A5型				1	1								2
コクサッキー A6型						1							1
コクサッキー A9型													0
コクサッキー A10型													0
コクサッキー A16型								2	2	2			6
コクサッキー B2型			1										1
コクサッキー B5型													0
エコー 3型													0
エコー 5型													0
エコー 6型													0
エコー 11型										2			2
エコー 18型													0
エンテロ A71型													0
エンテロ 型別不能							1	1	2	2		1	7
その他のエンテロウイルス													0
ライノ													0
ムンプス													0
パルボウイルスB19													0
RS A亜型													0
RS B亜型													0
RS 型別不能								1					1
A群ロタ		1											1
C群ロタ													0
アストロ			1	1				1			2	1	6
ノロ GI													0
ノロ GII	3	9	12			1					3		28
サボ GI型													0
サボ GV型													0
サボ 型不明	1										1		2
ヘルペス 3													0
ヘルペス 4													0
ヘルペス 5													0
ヘルペス 6													0
ヘルペス 7								1					1
A群レンサ球菌								1					1
黄色ブドウ球菌		1											1
セレウス菌		1											1

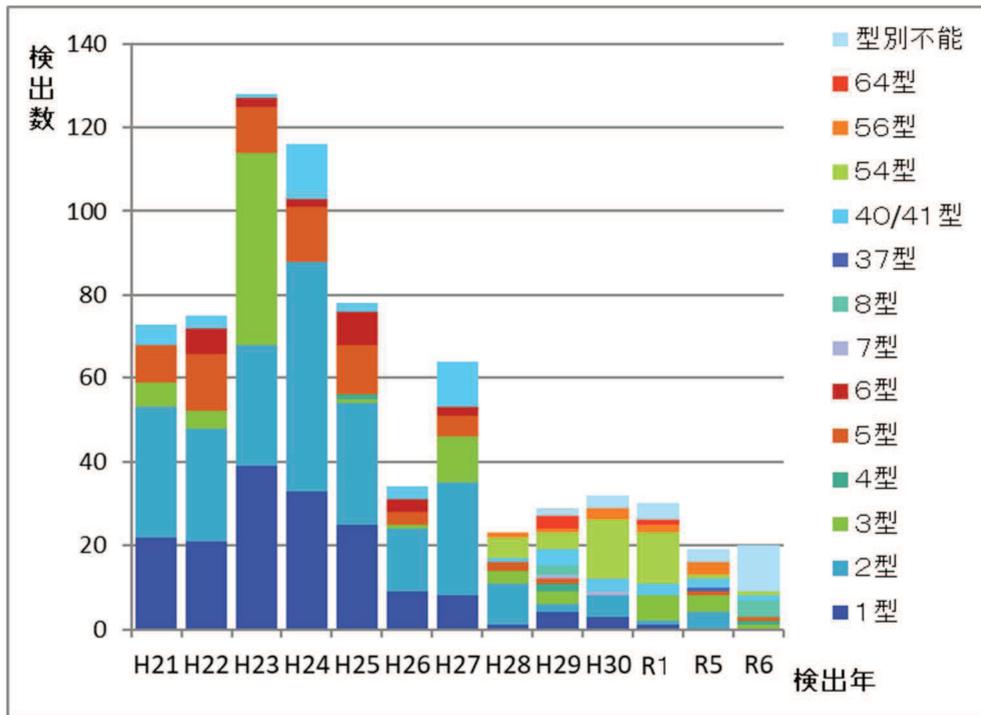


図 13 年別型別 アデノウイルス検出状況

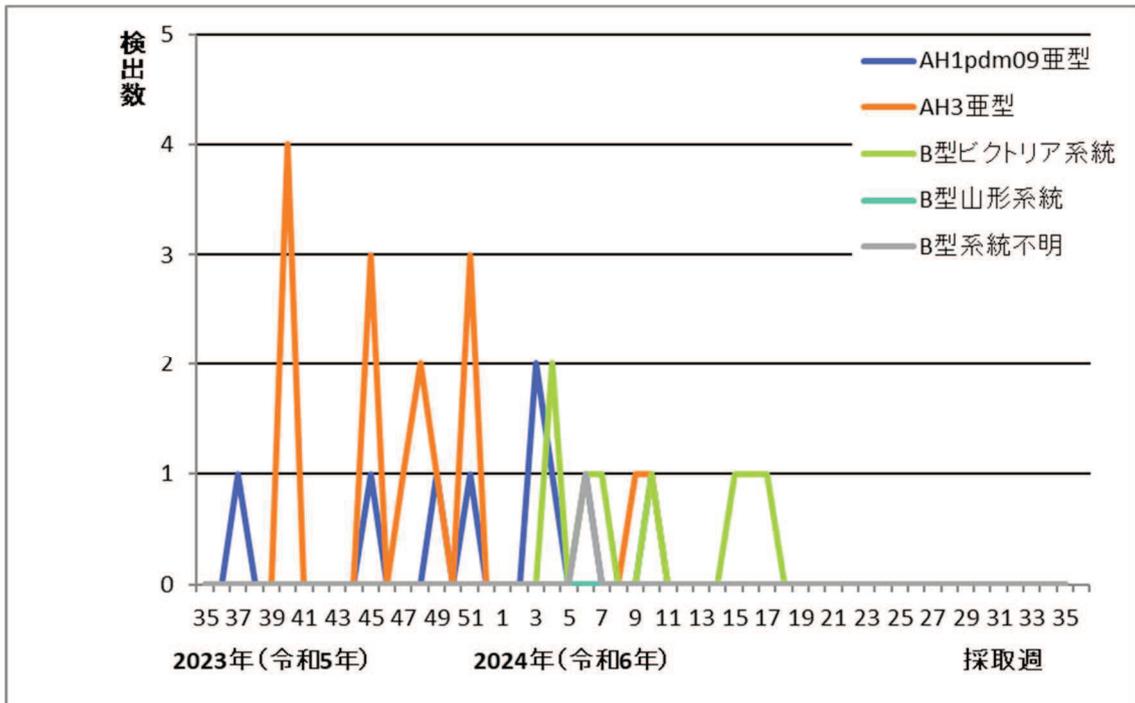


図 14A 2023/24 シーズン インフルエンザウイルス検出状況

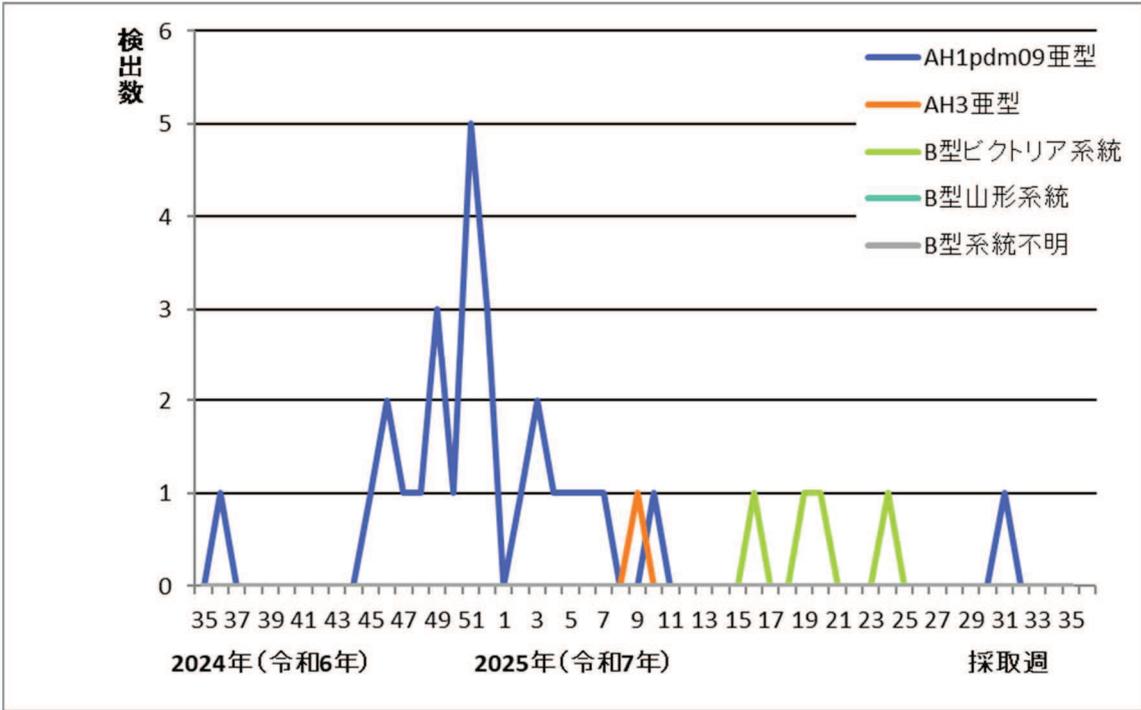
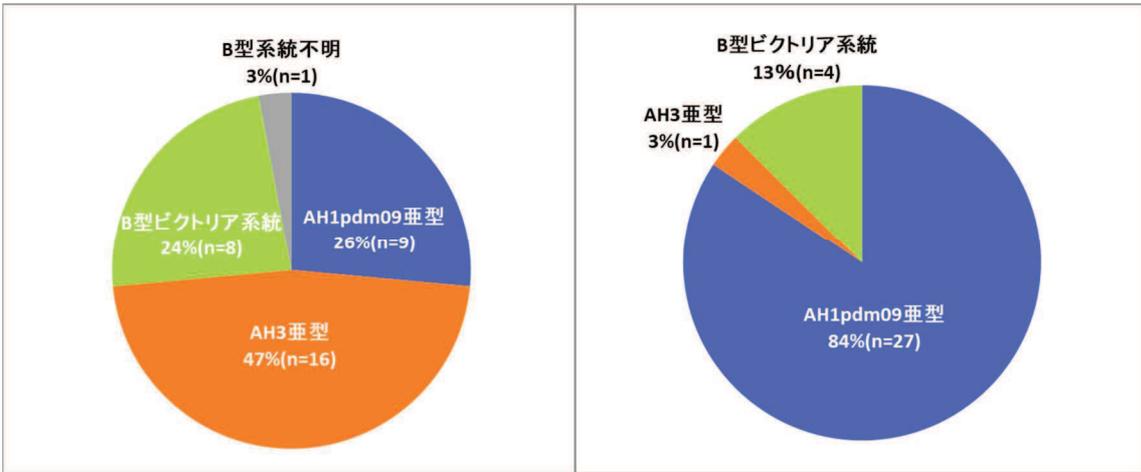


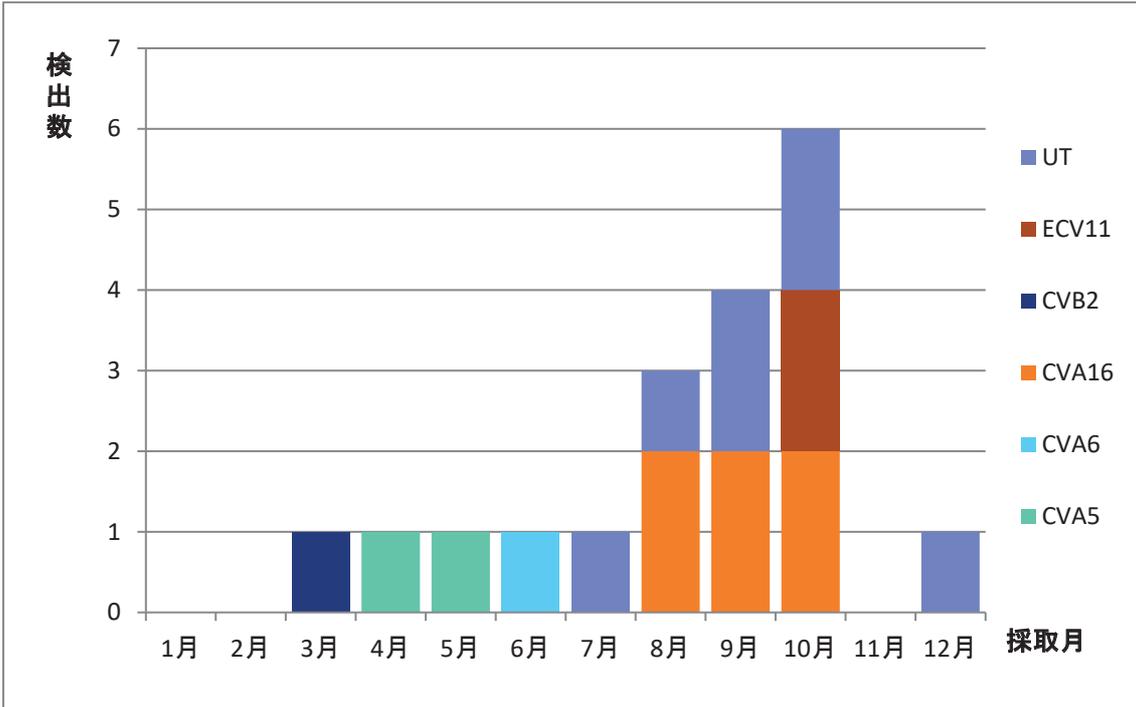
図 14B 2024/25 シーズン インフルエンザウイルス検出状況



<2023/24 シーズン>

<2024/25 シーズン>

図 15 2023/24、2024/25 シーズンにおけるインフルエンザウイルス型別検出割合



※CV：コクサッキーウイルス UT：型別不能

図 16 令和 6 年 月別 エンテロウイルス検出状況

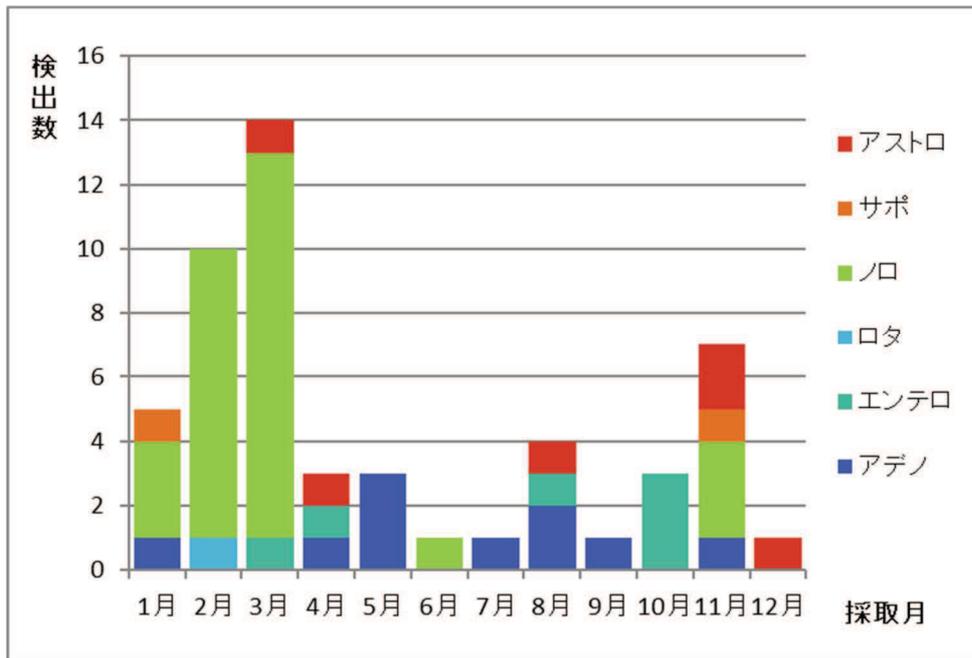


図 17 令和 6 年 月別 便検体由来ウイルス検出状況